

ことうら議会だより

2024年2月1日発行 第79号



トピックス

- ・特集 P 2～3
議会トピックス2023年ベスト5
- ・臨時会、定例会 P 4～7
- ・一般質問 P 10～17

拝殿の龍に願をかける辰年
元旦の神崎神社



議会トピ

議会は住民福祉の向上を実現するために、町民の皆さんの声を的
しかし、皆さんが議会に対して無関心な場合、残念ながら「住民
る努力も必要であり、そのためには住民との距離を縮め、身近な存
手段の一つです。昨年、一年間の主な活動をトピックスでまとめて

まなタン改修決定

全面改修せず老朽化部分改修を選択

3月定例議会は一般会計予算「生涯学習センター空調改修工
事詳細設計委託料（1521万円）」など3事業を減額した修正案
を可決。

福本町長は6月定例議会に減額された「生涯学習センター空
調改修工事詳細設計委託料（1521万円）」を再度計上し、議会
はこれを含む補正予算を可決した。

改
修
理
由

生涯学習センターは完成後25年経過、空
調ポンプの老朽化など全館のパイプが老朽
化している。早急に更新しなければ、故障
により全館休館の事態も危惧されるため空
調改修を最優先事項とする。

サッカー場人

人工芝、天然芝

福本町長は10月臨時
場の人工芝改修設計委
上し、議会はこの補正

理
由

東伯総合公園サッ
た芝の養生期間など
ている。年間通じてサッ
ツやイベント、多世代
施設として整備するた
照明を新設する。なお
を活用する。

議会改革推進特別委員会を設置

議会の見える化を目指して

令和2年10月に議会改革推進特別委員会を設置、令和元年
11月「町民アンケート」分析結果を踏まえ議員定数（16名）、
議員報酬（22万4千円）について議論し、「現状維持」とした。

令和4年の改選による新体制の基、令和4年9月に新たな議
会改革推進特別委員会を設置し、今回は議員定数等改革推進部
会とDX等推進部会の2部会に分かれ研究協議中。

議員定数等改革推進部会

- 議員定数の見直し
- 報酬見直し
- 選挙（町長・町議）期日の見直し
など

D X 等 推 進 部 会

- DX（デジタル技術を活用した改革）
- ICT活用の推進（開かれた議会）
- 議会BCP（業務継続計画）の策定
など

ツクス

2023年
ベスト5

確に把握し、その声を町政に反映する使命があります。
の声」は議会に届きません。一方で、議会は皆さんの声を吸い上げ
在に感じてもらう議会でなければなりません。議会だよりは、その
みました。

工芝で整備 に方向性

議会において、サッカー
託料（1670万円）を計
予算を可決した。

カー場は、雨天や積雪時ま
年間5か月の利用制限をし
カーのみならず、他のスポー
の多様な活用を可能とする
め、人工芝に張替え、夜間
事業は財政に有利な助成金



物価高騰対策予算案を否決 商品券の配布拡大

1月臨時議会は、物価高騰対策支援として、ことうら商品券
を1世帯5千円配布する事業に対し、人数割の加算も求め予算
案を否決。

福本町長は2月臨時議会において、改めて1世帯3千円+世
帯人数×2千円とする総額5595万円の予算を計上し、補正予
算を可決した。

(例) 3人世帯の場合

当初案	修正案
1世帯×5,000円 =5,000円	1世帯×3,000円 + 3人×2,000円 =9,000円

注目される琴浦町議会 全国から視察に来町

町議会は全国町村議会議長会より「令和3年度町村議会特別
表彰」を受賞、これは議会基本条例の制定や予算審議における
修正、組み替え動議など、活発な議論展開等が評価された。

また、2023年度（令和5年度）版住みたい田舎ベストランキ
ング総合部門1位を受賞するなど、全国の注目の的となっている。

令和5年10月19日 佐賀県白石町議会文教厚生常任委員会

令和5年11月9日 東京都町村議会議長会

令和5年11月15日 福井県大飯郡おおい町議会総務常任委員会



10月
臨時会

11月
臨時会

12月
定例会・臨時会

物価高騰対策

10月23日開催の臨時会では東伯総合公園サッカー場の人工芝化に全国駅伝大会派遣への旅費、12月7日からの定例会では物価高騰対象)、ことうら商品券の配布（1世帯3千円、1人当たり2千円）、1218歳以下1人当たり5万円支給（住民税均等割非課税世帯・住民税

10月臨時会（10月23日）

令和5年度一般会計補正予算（第7号）

補正額 1670万円

東伯総合公園サッカー場を、現在の日本芝から年間使用が可能な人工芝へ整備する設計委託料について可決。

討 論

賛 成

金光 議員

人工芝は全天候型で利用制限がなく、屋外における多様な健康増進の場として提供できる

賛 成

11

反 対

4

反 対

桑本賢 議員

琴浦町は全国でも有数の芝の産地であり、人工芝の使用については農家の気持ちを考えると反対である

財産の無償貸付について

企業・県・町が三者協定を結び、とっとり共生の森事業のため無償で貸し付けしている期間を延長することを可決。場所は船上山ダム西側の以西財産区有地。

11月臨時会（11月28日）

令和5年度人事院勧告に伴う給与の改正

全会一致で可決。

令和5年度一般会計補正予算（第8号）

台風7号による災害復旧費、赤碕中学校男子全国駅伝大会出場補助金などを可決。

重点支援など可決

向けた設計委託料、11月28日の臨時会では災害復旧費や赤碓中学校策交付金事業として1世帯当たり7万円（令和5年度非課税世帯対月27日の臨時会では1世帯10万円（住民税均等割のみ課税世帯対象）、均等割のみ課税世帯対象）についての補正予算などを審議し可決した。

12月定例会

令和5年度一般会計補正予算（第9号）（第10号）

可決された主な補正予算

公共事業

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1. 堤内の泥土撤去（松谷第3ため池） | 385万円 |
| 2. 八橋地区公民館修繕（屋根・軒天他修繕工事） | 238万円 |
| 3. 第5水源地砂等流入改善調査費 | 105万円 |
| 4. 危険空き家略式代執行（処分量増加のため予算増額） | 192万円 |

教育・民生

- | | |
|------------------------------|--------|
| 1. 給与の改定（認定こども園に従事する職員の給与増額） | 837万円 |
| 2. 令和4年度療養給付費負担金追加 | 838万円 |
| 3. 国民健康保険制度改正によるシステム改修費 | 250万円 |
| 4. 令和6年4月介護保険報酬改定システム改修費 | 236万円 |
| 5. 在宅重度障がい児童等支援体制強化事業補助金 | 307万円 |
| 6. 東伯中学校バリアフリー化対応整備 | 1175万円 |
| 7. 子ども・子育て支援交付金 | 220万円 |
| 8. 買物環境確保推進補助金 | 68万円 |
| 9. 放課後健全育成補助金 | 24万円 |

物価高騰対策

- | | |
|---------------------------|----------|
| 1. 7万円支給（令和5年度住民非課税世帯当たり） | 1億2966万円 |
| 2. ことうら商品券（1世帯3千円と1人2千円） | 5638万円 |
| 3. 有機ペレット（堆肥）購入補助金 | 107万円 |
| 4. 肉用牛肥育経営特別対策事業 | 128万円 |

請願・陳情

番号	件名	提出者	付託委員会	委員会の意見	本会議採決結果
5年陳情第13号	琴浦町施設での人工芝利用の禁止を求める陳情書	白鳳の郷地域活性化協議会 会長 山崎 幸太	総務産業	不採択	不採択
5年陳情第14号	「子どものために保育士配置基準の引き上げと、労働条件改善による保育士の増員とさらなる賃金引き上げを求める意見書」の提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会 会長 石井 由加利	教育民生	採択	採択

令和5年陳情第13号 琴浦町施設での人工芝利用の禁止を求める陳情

反対多数により陳情は不採択。

討 論

賛成

(採 択)

山本、桑本賢、押本

賛成

4

反対

10

金光、田中、桑本始

反対

(不採択)

山本 議員

本町は日本芝の主要な産地であり、生産者への理解が得られていないことがこのような陳情書が出された理由だと思っている。地場産業の保護及び振興のために採択。

桑本賢 議員

本町の象徴とも言える日本芝生産に、一生懸命取り組まれてきた生産者の努力と歴史の重さを考えたときに、人工芝ではなく日本芝の活用は地域のために役に立っていると思うので採択。

押本 議員

地元産業のプライドを考える時、地元でありながら、他の商品を利用されてしまうと関係者の気持ちはどうなのか。また建設費が6億円が見込まれ借金の増大、更新時の廃棄物問題の事を考えるので採択。

金光 議員

10月23日の臨時議会において、多くの議員が人工芝化への予算に賛成している。公共施設レビューでの人工芝による改修の意見もくみ取りたいので不採択。

田中 議員

陳情書の記載内容に、正確または事実でない部分が数か所見受けられる。その中の一つである今回申請する事業は、サッカーのみの使用に限定するものではなく、利用制限のない多目的サッカー場であり、決して天然芝を否定するものではないため不採択。

桑本始 議員

芝生産者全員が人工芝はダメだとは思っていない。人工芝による関係人口の増加や移住定住の促進が期待されることで地域産業の活性化が見込めるので不採択。

令和5年陳情第14号 「子どものために保育士配置基準の引き上げと、労働条件改善による保育士の増員とさらなる賃金引上げを求める意見書」の提出を求める陳情

陳情は採択。

人権擁護委員に対する意見を求めることについて

賛成多数により「適任」であるとの意見を付す。

意見

賛成	反対
12	3

押本 議員

人権擁護委員は7名で17分野の活動を行うことが任務となっているが、履歴を見れば、ある専門分野において該当が見当たらない構成に見えるので再考すべき。

12月臨時会

令和5年度一般会計補正予算（第11号）

- | | |
|----------------------------|--------|
| 1. 物価高騰対策 | 7133万円 |
| 1 世帯10万円支給（住民税均等割のみ課税世帯対象） | |
| 18歳以下1人あたり5万円支給 | |
| （令和5年住民税均等割のみ課税世帯） | |
| （令和5年住民税均等割非課税世帯対象） | |
| 2. 町長給与の減額（職員の懲戒免職処分による） | △8万円 |

賛否が分かれた議案等の起立採決による審議の結果

議案等	審議結果		金光 敦	小椋 憲浩	谷田 順子	田中 肇	川本 善孝	山本 秀正	押本 昌幸	澤田 豊秋	桑本 賢治	川本 正一郎	小椋 正和	手嶋 正巳	前田 智章	桑本 始	井木 裕	大平 高志	
	賛成	反対																	
臨時会 議案第113号 令和5年度琴浦町一般会計補正予算（第7号）	賛成	11	4	○	×	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	議
定例会 5年陳情第13号 琴浦町施設での人工芝利用の禁止を求める陳情書	不採択	4	10	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	退	議
定例会 人権擁護委員に対する意見を求めることについて	賛成	12	3	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	議

この表に掲載していない議案は全会一致で可決、請願は全会一致で採択または不採択となった。

○=賛成・採択 ×=反対 欠=欠席 議=議長 退=退席 除=除斥



委員会

総務産業常任委員会

委員長 川本 正一郎

12月14日に委員会を開催し、各課からの報告事項の説明を受け審議を行った。
 委員会に付託された陳情第13号「琴浦町施設での人工芝の利用の禁止を求める陳情」
 について審査し不採択とすることを決めた。
 委員会終了後は琴浦町内の若手農業者（果実・園芸生産者6名）と「これが言いたい！
 これからの農業」をテーマに現状の課題や今後の展望を町政に活かせるよう意見交換会を
 実施した。

共助交通について

- Q** 安田地区の有償運送についての実態は。
A 今年に入り利用者が随分増えてきている状況で、地域の皆様に活用いただいている。

国際交流について

- Q** 台湾の中学校との交流ではホームステイを計画しているか。また韓国との交流経過は。
A ホームステイを考えており、様々な体験をして頂こうと考えている。韓国とは継続的に交流を行う予定。

JR浦安駅舎の改修について

- Q** JR浦安駅の改修では、まなタンに通じる通路にエレベーターの設置が要望されているが。
A JR側との方針の違いもあり設置は困難だと考えている。

若手農業者との意見交換会



さねとう ひかる
實藤 光さん
(スイカ・プロッコリー)

若手を取り込む施策が欲しい。新規農業参入事業の給与保障を最低3年間は必要。



おおはら けい
大原 啓さん
(新規就農2年)

農業への可能性を提案したい。町民全員がサポーターとなって魅力発信してほしい。



めぐる りゅうき
目黒 龍樹さん
(梨)

果樹は難しいが楽しい。農業をめざし後悔はない。耕作放棄地は他産業が手招いている。



かみむき のぶゆき
上向 信之さん
(梨)

後継者は私たちのような孫世代の農家が増えている。高収益につながる施設導入を進めてほしい。



こまえ ゆういち
小前 雄一さん
(スイカ・プロッコリー)

作付から収穫までをコントロールできるのが楽しく、充実している。規模拡大や効率化のためにスマート農業、土地整備の推進は必須。



にしお けんじ
西尾 賢二さん
(いちご)

いちごの魅力をもっと周りに伝えたい。経営分析・労力分析も大切。

委員会の感想

「農業をしていて楽しい」という意見が多く、これからの農業は明るいと感じた。頂いた意見を次の世代につながるよう町政に活かしていきたい。

の 報 告



教育民生常任委員会

委員長 澤田 豊秋

12月15日に委員会を開催し、各課からの報告事項等の説明を受け審議を行い、委員会に付託された陳情第14号「子どものために保育士配置基準の引き上げと、労働条件改善による保育士の増員とさらなる賃金引き上げを求める意見書」について審査し、全会一致で採択とすることに決した。また、社会福祉協議会と意見交換を行い、事業概要並びに現状と課題について説明を受け、率直に話し合った。

台湾との交流について

- Q** 台湾台中市との交流について、何のためにやるのか。
- A** 鳥取県と台中市との交流が5年前から始まっている。台中市の日南中学校が日本との交流を切に希望している。
- A** PTA連合会でも保護者から多文化交流を進めて欲しいという要請もある。

町営バス「琴浦海岸線」の延長について

- Q** 町営バスの運行で、「琴浦海岸線」を赤碕駅西側まで延長しては。
- A** 検討する。

病後児保育事業の廃止について

- Q** みどり保育園で実施している病後児保育事業が廃止され、倉吉「すくすく園」（野島病院内）を利用することになるということだが、利用者が不便になるのでは。
- A** 病後児保育、病児保育の希望が多いのが現状、病児を含めて検討する。

町社会福祉協議会との意見交換会

- 分庁舎西側にある老人福祉センターは昭和53年に建設され、現在45年を経過している。現在及び今後の修繕費及び解体等の費用を社協だけでは負担できない状況である。
ここ何年か、集中豪雨があったときエレベーターのところから漏水があり使えなくなることがある。電気が止まれば、車いす利用者の方を階段から降ろしたりしている。従って、平屋が理想である。また、空調関係もよくない。
- 通所介護事業所における介護職員・看護師従業員の慢性的な不足が生じている。
- 障がい児者の放課後や夕方、土曜日に過ごせる事業所は町内で社協のみである。介護職員の人員不足もあり運営が厳しい。



委員会の感想

老人福祉センターの老朽化が喫緊の課題であることを認識され、改修について前向きな意見が多く出された。

ここが聞きたい

一般質問

Q&A

一般質問とは、議員が、町長・教育長・農業委員会会長・選挙管理委員会委員長・監査委員などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて問うもの。

	質問議員	質問事項	掲載ページ
12月11日	通告1番 小椋 憲浩	1. 中学生議会・女性模擬議会を受けて町政への取組について 2. 担い手不足解消の取組について本町の具体的な方向性について 3. 森林環境譲与税の取組について	11
	通告2番 田中 肇	1. 人工芝と天然芝の特性を生かした施設整備について 2. 町有マイクロバスの利用について	12
	通告3番 谷田 順子	1. 公共施設等の環境整備について	13
	通告4番 川本 善孝	1. 学校給食費の無償化について 2. 地区公民館の設備・機能について	14
12月12日	通告5番 手嶋 正巳	1. 小中学生の不登校について 2. 婚活支援について	15
	通告6番 川本正一郎	1. 観光農園・体験農業の現状と支援 2. スマート農業の進捗と取組み	—
	通告7番 押本 昌幸	1. 「住宅新築資金等貸付事業特別会計関係図」(税務課)について 2. 多目的サッカー場について	16
	通告8番 桑本 始	1. 子どもの休み方改革「ラーケーション」の導入について 2. 子育て支援政策について	17

※青字は、本誌では省略



通告書



事項一覧

問

第一次産業の担い手不足対策は

答

最初に取り組みやすくするため、半農半X・副業も含め小さい規模の農業に対しても支えていきたい
福本町長



小椋 憲浩 議員

質疑応答時間 (13回 (質問) 25分 + (答弁) 41分) (トータル) 66分

問

「中学生議会」「女性模擬議会」で様々な提案がなされたが、令和6年度以降の本町の施策としてどの様に取り組むのか伺う。

答

中学生議会では内部協議を始めている。少子化に伴う進学事情の一つに通学環境の条件があげられる。今一度中学生にどんな高校だったらいいのか率直な意見を出してもらっている。

女性模擬議会は女性の活躍推進と女性の政治の政策決定の場に参画できる体制作りが大きな目標であり、頂いたたくさんの意見は本町施策の参考にさせて頂きたい。
福本町長

答

進学と言う近い将来に向けて、高校についてしっかり調べ、考えるよい機会だったと感じた。またこのような貴重な経験は、政治、行政に興味を持ち参画するきっかけとなった。

女性模擬議会では、国際理解教育について来年は交流事業を計画している。また、コミュニティ向上のため、ふるさと教育にも力を入れている。給食の有機栽培野菜などの使用は提供ルートに乗ること

があれば検討したい。高校生がこの議会へ参画された意義は大きいと感じた。
河原教育長

問

第一次産業などの担い手不足は大きく解消できていない。解消のための取組について具体的な方向性について伺う。

答

農業分野では、組織を担って頑張っている方、個人で自分の経営を伸ばしていきたい方、それぞれの形態にあった部分に対してサポート体制を大事にしながらか進めているところで、これから農業を始めてみたい方に対しても、県をはじめとする制度も紹介・活用するが、最初に取り組みやすくするため小さい規模での農業に対しても支えていきたいと考えている。
福本町長

問

森林環境譲与税は、令和6年度から森林環境税となり、適切な森林整備、温室効果ガス排出量の削減、災害の防止などが目標とされる。本町はそのほとんどが将来のために積み立てられているが、令和6年度以降の活用について伺う。

答

現在の積立額は僅かであり活用できていないので、国に対して税の譲与基準の見直しを要望しているところである。

町としては令和13年までに山の持ち主に対して山についての意識調査を行い、今後自分で経営が出来るのか、業者に委託するのかなど調査を進め、長期計画の中でどこに使うのが一番有効か考えたいと思っている。
福本町長



8月22日に開催された中学生議会



田中 肇 議員



- ①5年に及ぶ人工芝と天然芝の論争決着
今後はそれぞれの特性を生かした整備を
- ②町有マイクロバスの利用が不便



- ①サッカー場は人工芝、多目的広場を含めた
施設の天然芝生化を検討 河原教育長
- ②高齢者クラブ等からも聞いている 福本町長

質疑応答時間 (12回 (質問) 30分 + (答弁) 21分) (トータル) 51分

人工芝と天然芝の特性を生かした施設整備

問 人工芝と天然芝の特性を生かした整備が重要では

10月23日に開会された琴浦町臨時議会において、一般会計補正予算が可決され、人工芝による東伯総合公園サッカー場の改修設計業務が予算化されました。

これにより5年に及ぶ人工芝と天然芝の論争に決着がつき、日本サッカー協会の助成等を受けて町の財政負担を軽減する有利な事業着手が可能となりました。

今後は人工芝と天然芝それぞれの特性を生かした施設整備が重要だと思うが。

答 多目的広場を含めた施設の天然芝生化を検討 河原教育長

天然芝生化については多目的広場、野球場も含め、様々な施設の利用状況等を踏まえて今後検討していきたい。

また、現在のサッカー場の天然芝の再利用について、町有施設で活用していく方向で考えたい。

問 グラウンドゴルフが出来なくなる心配は

住民の方から、グラウンドゴルフが出来なくなる、そういった心配の声が伝わってきました。

調査してみると、チラシが町内に配布、出回っているが。

答 サッカーに限らず、イベントなど多様なものに使っていく 福本町長

今回の改修事業は、サッカー以外にも活用すると

いう事が求められている補助事業である。

従って、サッカー以外にもグラウンドゴルフ等いろいろなイベントに利用できる補助金の性質であるので、サッカー場はサッカーに限らず多様なものに使っていきたいと考えている。

日本サッカー協会の助成事業を活用し、多目的利用が可能なサッカー施設整備助成金交付要綱の「地区サッカー施設整備事業」を適用。

町有マイクロバスの利用について

問 利用の不便を訴える声を聞くが

平成31年4月に、町有マイクロバス（中型、小型各1台）の使用基準が改正されて以来、利用の不便を訴える町民の声を聞くが、町長はこの声を認識しているか。

答 声は聞いている バス運行の目的は町主催事業 福本町長

特に、高齢者クラブの方々などからも、聞いているが、町のマイクロバスの運行目的は、町主催の事業としている。

問 隣町とバス台数、運行目的が異なるが

隣町はバス台数が多く、運行目的は高齢者福祉など利用しやすい状況だが。

答 検討しないといけないと思っている 福本町長

バスの台数、運転手不足の解消について、隣町の状況を聞きながら進めていきたい。



公共施設の環境整備についての考えを伺う



何らかの対策は必要、検討していきたい
福本町長



谷田 順子 議員

質疑応答時間 (13回 (質問) 22分 + (答弁) 23分) (トータル) 45分

都市計画道路等の除草作業

問 除草作業が間に合わない状況があるが対策を考えているのか

除草作業後の都市計画道路の樹木は所々枯れて無くなっており、寂れた町という印象を与えている。今まで以上の対策の必要性を感じているのか伺う。

答 樹木には様々な効果があり、何らかの対策は必要
福本町長

町内一斉に作業の要望が出てくるため、ワークセンターの職員だけでは対応できない。町の土木ボランティアなど、部落ごと地域ごとの取り組みを区長会でもお願いしている。

問 住民がボランティアとして参加しやすい仕組みの工夫を

道路の草取り作業などボランティアで協力したいが、作業後の片づけが大変という町民の声を聴く。話し合いの場を設けるなど検討されないか。

答 全体的な見直しも含めてやっていきたい
福本町長

草刈りの頻度も多くなっており、ワークセンターが抱える範囲など、全体的な見直しをやっていきたい。



都市計画道路の街路樹

まなびタウン駐車場の街路灯

問 まなびタウン駐車場の街路灯が撤去されている、再度設置する考えはないか

まなびタウンの利用者は多くの場合、車を利用されているので、夜間の照明不足は気にならない方も多いと思うが、まなびタウンの駐車場は通学や散歩コースとして利用される方もあるが。

答 街路灯を必要とするところは多々あるので精査したい
福本町長

街路灯を必要としているところは多く、全てに比べると多額の費用が必要になる。町民の要望だけでなく必要性を調査し、計画性をもって整備する。

問 公共施設としての安全確保をどう考えるか

利用者が少なくても、町の公共施設の一部が暗闇で、不安を抱えて利用しなければならない状況は見過ごしてはいけな。照明不足を原因とする事故が発生しないよう早急な対応が必要と考えるが。

答 必要なところについて具体的に検討したい
福本町長

公共施設に限らず、歩行者にとって必要な明かりが有るかなど調査し、検討していきたい。



川本 善孝 議員

問

令和4年度教育費は8億3059万円で3年度より1億円強減った給食費を無償化できる金額だが

答

教育委員会では教育内容の充実を第一に考える 人的配置、教育環境の整備、子どもを取り巻く環境整備に使いたい 河原教育長

質疑応答時間 (7回 (質問) 25分 + (答弁) 18分) (トータル) 43分

学校給食費の無償化について

問 令和4年度教育費は令和3年より1億円強減った。一般会計に占める比率も6.9%と他町に比べかなり低い。給食費を無償化できる金額だが。

答 ハード面の投資などもあるので、単年度だけで単純に比較はできない 福本町長
地理的条件もある。都市部では商工費が多いとか、山間部では農林水産費が多いとか。災害も入ってくるし、新たな建設等が入ってくるので単純比較はできない。

答 引き続き、保護者への給食費負担軽減を行いながら、国へ要望していきたい 河原教育長
今年度は材料費の増額分は町の負担とし、1食18円の補助を行い、保護者の負担軽減を行った。
特別支援学級等在籍の場合は半額補助、支援が必要な世帯には就学援助制度で全額補助を行っている。

問 県のアンケートでは、理想の子どもの数は3人以上だが、そうなっていない理由の1位は経済的負担が大きいとなっているが。

答 親の収入が子育てに影響していることは否めない。細やかな対策を各課で行っている。 福本町長

答 例えば1億円あれば、人的配置・教育環境の整備・子どもを取り巻く環境整備に使いたい。 河原教育長

浦安地区公民館の設備・機能について

問 浦安地区公民館は、本年4月に「琴浦町複合交流施設」(旧社会福祉センター)に移転したが、調理室が無いなど機能上に問題を感じるが。

答 近隣のまなびタウンの施設を利用させていただくという説明で理解をお願いしている 河原教育長
そば打ち体験など水場が近くにある大会議室を利用し、工夫しながら実施している。

問 「琴浦町複合交流施設」という名称は難しい。愛称を公募してはどうか。

答 行政内部でも愛称をどうするかという話があった。考えてみたい。 福本町長



ガスが使えず調理ができない給湯室(浦安地区公民館)



小中学生の不登校について



新たな不登校を生まない学校づくりと、社会的自立を目指すきめ細やかな支援、対策を行っていく
河原教育長



手嶋 正巳 議員

質疑応答時間 (16回 (質問) 24分 + (答弁) 20分) (トータル) 44分

問 小中学生の不登校について

- ①文部科学省が公表した2022年度の問題行動、不登校調査結果では、不登校の小中学生は過去最多の29万9,048人に上がっている、町内の現状と対策について伺う。
- ②不登校とは、病気や経済的理由などを除き、年間30日以上登校していない状況を指すと聞いている。
- ③国の対策として3月に策定した「COCOLOプラン」を前倒し実施。児童生徒や保護者に届くような情報発信の強化など国から指導はあったか。
- ④「登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク」のアンケート結果では、不登校の原因が自分にあるかのように責めた親が66.7%、孤独感を抱いた親が53.1%などとなっている、親についての支援が特に大事と思うが。
- ⑤滋賀県草津市は不登校児の親への支援で、2021年からフリースクールの利用料上限を月4万円として2分の1を補助、生活保護世帯や就学援助の支給者について補助率を上乘せしている、この事例についてどう思うか。

- 答** ①10月末現在の不登校の出現率
小学校中部地区で1.43%琴浦町1.22%
中学校中部地区で5.56%琴浦町5.44%
半数以上が昨年度からの継続者、新規の不登校もいる。
学校の教育の充実と支援、体制の両輪で進めていく。
- ②不登校の定義はその通り。
 - ③国の情報は把握している。
 - ④不登校の要因、背景はそれぞれ違う、子どもと保護者に寄り添った対応をしていくことが一番大事。

- ⑤本町でもフリースクールの利用料、通学費の助成を行っている。
河原教育長

問 婚活支援について

- ①各地の自治体やJAなどが独自の婚活支援に力を入れている、また町も取り組んでいるが更なる支援が必要と思うが。
- ②農業委員会がやっているクルクルツアーの成婚率は。
- ③JAも平成30年9月と12月、令和元年9月、農コンということで3回開催、現在はコロナの関係で中止、今後再開予定、一応成果はあったと聞いているが。
- ④県の状況、婚姻率が前年を上回った。
県の子育て王国課は来年「AI」による候補探しのサポートを導入、縁ナビによる対話とデジタル両面で支援すると報道されている、どう思われるか。
- ⑤クルクルツアーの継続と町として最大限の努力をしては。

- 答** ①中部広域とっとり出会いのサポートにつき支援し一緒に参画していく。
- ②成婚されたと聞いているが数は把握していない。
 - ③クルクルツアーは好評と聞いている、大事にしたい。
 - ④メタバース（仮想空間）という形で展開が図られている。
インターネットを活用しての取り組み。
 - ⑤町主催の新しい事業は考えていないが、県や鳥取中部ふるさと広域連合が実施する事業の活用を推進。
福本町長



押本 昌幸 議員

問

人工芝サッカー場の課題への対応は

答

(公) 日本スポーツ施設協会等の議論を踏まえて入念に計画を 福本町長

質疑応答時間 (10回 (質問) (答弁) (トータル) 30分 + 19分) 49分

問

「ティフトン」の種が飛んで日本芝と交雑するというのは、どうなのか。

※「ティフトン」とは、サッカー・ラグビーなど激しいスポーツにふさわしいとされる天然芝の種類。

答

ティフトンは種がない。日本芝への混入はない。町内での生産はない。 福本町長

問

もう一つの課題は、人工芝片とゴムチップなどの充填剤の流出。洗川・茅町川・元旧川などから日本海へ。

答

環境省とか、日本スポーツ施設協会とかの議論を踏まえたうえで、配慮して入念に計画を練っていく予定。 福本町長

	ほくく茎	種子	種類
暖地型	○あり	×ない (栄養繁殖)	高麗芝 ティフトン セントオーガスチン 野芝
	○あり	○ある	バミューダグラス
寒地型	○あり	○ある	ケンタッキーブルーグラス
	×なし	○ある	トールフェスク ペレニアルライグラス アニュアルライグラス

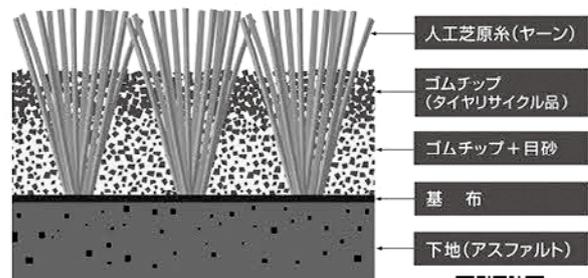
「芝の種類」

「リング・ウッドフィールド」のH.P.を参考に作成



日本スポーツ施設協会のお知らせ

ハイブリッドターフ構造図 (人工芝)



■本件についてのお問い合わせ先:
株式会社住ゴム産業 東京 スポーツ施設部



問

日本サッカー協会会長の(人工芝の)課題。雨水の排水の問題。どういうふう処理する。笠見地区のため調整池が必要では。

答

サッカー場の排水計画は農業用排水路の改修に支障がないように考慮する。 福本町長



使用前の人工芝

使用により摩耗した人工芝

多摩市公式H.P.から

資料集 <https://cdn2.me-qr.com/pdf/19477365.pdf>

JFA会長課題 https://www.jfa.jp/social_action_programme/green_project/news/00029544/

排水：高森町 https://www.town.nagano-takamori.lg.jp/fs/4/8/8/5/2/_/HP%E8%B3%87%E6%96%99.pdf



資料集



JFA会長課題



排水：高森町



紙おむつ無料定期便を
(対象:生後3ヶ月～満1歳の子どもがいる家庭)
(オムツ、ミルク、離乳食など育児用品のカタログから毎月2点)



令和6年度予算で
紙おむつサブスク^{*}を検討 福本町長



桑本 始 議員

質疑応答時間 (10回 (質問) 30分 + (答弁) 29分) (トータル) 59分



子育て支援政策
(紙おむつ無料、養育費立替、養育費差押え)

(1) 0歳児のオムツ定期便(オムツ、ミルク、離乳食などの育児用品のカタログから毎月2点を選ぶ)とし、月に1度、家庭に配達する仕組みの導入(対象者は生後3ヶ月～満1歳の子どもがいる家庭)

鳥取市は令和6年度実証実験で公立保育所に無料で紙おむつ定額制を実施されるが。

(2) 養育費の助成について

①令和5年度養育費にかかる公正証書等作成促進事業助成金の実績はあったのか。

②養育費立替支援事業の創設

取り決めをしたのに受け取れていない養育費を3ヶ月月額5万円まで立替支援をする。(子どもが琴浦町に住み、調停書や公正証書などの公的な取り決めをしている。また、毎月分の養育費を受け取れていない人が対象)。養育費差押えサポート事業も併用させ、条例を制定し取り組まれないか。



(1) 令和6年度に向けて紙おむつを無料にするのか、サブスクで保育園に配布し、一定額をもらうのか検討している。

^{*}サブスクリプションの略。定額料金で一定期間、商品やサービスを利用できる仕組みのこと。

(2) ①現時点で2名の申請を受け取った。養育費負担に関する合意が法的拘束力のない口頭での取り決めがされており、不払いが発生しており、養育費が受けられるような体制を取っ

ていく。

(2) ②調停書・公正証書など債務名義で養育費の取り決めを行っていることが要件で、立替・回収・差押え等、私債権であり民事執行で回収・差押えを取り組むのは少し不安がある。

福本町長



子どもの休み方改革
「ラーケーション」の導入

(愛知県:土曜日に働いている人は45.5%、日曜日に働いている人は30.4%)

愛知県が9月から導入した制度で、学習のラーニングと休暇のパケーションを組み合わせた造語。

児童生徒が保護者との校外学習を目的に自由に休む日を選択できる制度。1年間に最大3日までで欠席とはせず、受けられなかった授業は家庭での自習で補う。

この発想は土・日休めない保護者の休暇に合わせて子どもと一緒に過ごせる機会を増やす制度で本町での導入は。



令和3年度実施の「体験的学習等休業日」の活用を進めたい 河原教育長

課題もあり、休みが取れる家庭と取れない家庭で学級内での明暗の差が生まれ公平性に欠くという理由で名古屋市は見送っている。

鳥取県でも体験学習のための休業日、「体験学習活動等休業日」を琴浦町は令和3年度から実施。鳥取市・南部町も導入しており、現在はこれを活用していきたい。ラーケーションの実証実験であり、課題がクリアできるようであれば前向きに考えてみたい。

町民の声

敬称略

身体（からだ）動かしていますか？



おおしようちろう
大石陽一郎

町スポーツ推進委員や小学生の陸上教室コーチとして地域で活動する中で、また自分自身スポーツ（する・みる・ささえる）を趣味として生活する中で見えてきたのが、年齢に関係なく運動やスポーツが習慣となっている人たちの元気ではつらつとした眩しい姿。いわゆる「健康寿命」にもつながってくるところと捉えています。

身体を動かすといっても色々なやり方がありますが、スポーツ推進委員の立場として、手軽に楽しめる「ニュースポーツ」を通して、町民の皆さんに身体を動かしていただく場面を増やせないかと画策しています。町全体や各公民館区での体験会などのイベント開催はその一つですし、事業者や集落などグループ単位で依頼をいただければ出張教室も行います。

運動やスポーツをいざ始めてみてもなかなか続かないことがあるのも人間。もし気乗りしなければストレッチ程度で済ますのもいいですし、一緒にやる「仲間」を作ることはおすすめしたいと思います。かく言う私も、今年もリフレッシュを兼ねてたくさん身体を動かしていきます。

琴浦町が大好きです



こにし
小西みさほ

私は京都生まれの京都市育ちです。こう言うと実は羨ましく思っていただけなのがちょっと誇らしく思っていた時がありました。でも、琴浦町のことを知れば知るほどその思いは変わってきました。

京都は千年の都と言われ、古いものがたくさんあります。確かに。でも、琴浦町には平安時代よりももっと古いものがあるんです。白鳳時代の斎尾廃寺跡は、詳しく知りたかったらまなタンの5階で知ることができます。また、八橋にある狐塚古墳がなんと誰でもすぐ近くで全形が確認できる距離で見ることができるんです。これにはとても感動しました。

次に水です。琴浦町は、この水が美味しいのです。もちろん、海の幸、山の幸が新鮮なものすごいのです。でも、ご飯を炊く時に使うのも水。煮物をする時に使うのも水。だから食べ物が全て美味しいのです。

最後に人です。私が琴浦町でお会いした方々はとても優しく親切で温かい方々が多く人と人のご縁を感じます。これからもこの大好きな琴浦町で楽しく笑顔で暮らしていきたいと思っています。



町指定史跡 狐塚古墳

あとかき



琴浦町議会では、町民の方にも積極的に町政に参加していただく「開かれた議会」を目指し、議会改革に取り組んでおります。

町民の方に積極的な町政への参加を促すためには、議会と住民との情報共

有がたいへん重要なものとなります。

広報委員会は「議会だより」をとらして、議会の内容をより見やすく分かりやすいものにし、町民の方との情報共有の先頭に立っていけるよう広報活動に取り組んでまいります。（あつし）

議会広報常任委員会

委員長	川本 善孝
副委員長	金光 敦
委員	山本 秀正
委員	田中 肇
委員	谷田 順子
委員	小椋 憲浩

題字 山田 美鈴氏